



ART-IMAGINE GALLERY PRESS RELEASE



アートイマジンギャラリーでは2013年7月25日(木)から6日間、桜井絵里の二度目の個展「同じ時間に目を醒ます」を開催致します。桜井は武蔵野美術大学映像学科に在籍していた頃から、幻想的な写真や映像作品を制作してきました。しかし2011年3月に起きた東日本大震災のあと鬱病にかかったのをきっかけに、作風が大きく変化することになります。気分の波が激しく上下することから、真逆の関係にある物事は同じことを交互に繰り返すという見解を昨年の個展で示していました。しかし今回は「鬱の自分も躁の自分も自分自身だと受け入れられるようになった。」と桜井は言います。相反する事象は交互ではなく同時に存在するという答えに辿り着いたということは、物を見る目や心が更に広がったことを意味します。気分や症状によって様々な表情を見せる桜井の最新作を、この機会に是非ご高覧下さい。

朝と同時に地球の裏で夜が始まる。私の苦手な人は誰かの親友であり、死にたいと打ち明けることは生きようとする事である。

桜井絵里

〔開催概要〕

展覧会名：同じ時間に目を醒ます

会期：2013年7月25日(木)－30日(火)

会場：アートイマジンギャラリー A室

営業時間：12:00-19:00(最終日のみ 16:00)

休廊日：水曜日

お問い合わせ：TEL&FAX:042-595-9612 ウェブサイト <http://www.art-imagine.com/>

E-MAIL：yf-web@art-imagine.com



ART-IMAGINE GALLERY PRESS RELEASE

〔展示構成〕

気分が変わると人や社会との接し方が変わるように、表現も症状の時期によってめまぐるしく変化します。今回は感情の波を鬱期、躁期、安定期の3つに分け紹介します。それぞれの時期によって全く違う表現手法をとりますが、一つの事柄に対し必ず両面の意味を考える「パラドックス」や「対比」を描いてるという点で一貫しています。

作品介绍① 鬱期

気分が落ち込む状態が続き、希死念慮と戦っていることが多い時期です。急を要する精神状態のため、強くストレートな表現が多く見られます。その作品には死や苦しみなどネガティブなイメージを抱きがちですが、「死にたいと打ち明けるのは生きようとする事」だと本人が言うように、桜井にとって悲しみや苦しみを伝えることは、喜びや嬉しさを表現することと同じ位生きるために必要なことです。



「沈黙」2013年 躁状態治療剤、抗うつ剤、睡眠導入剤の空包装

作品介绍② 躁期

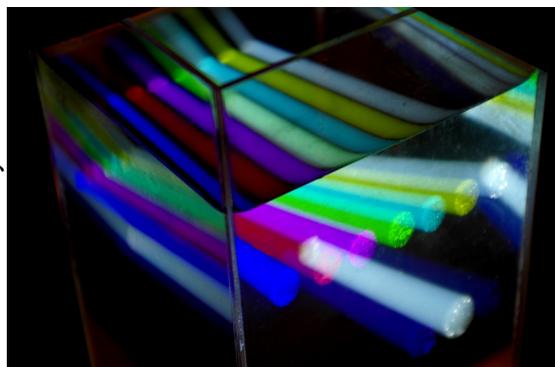
鬱期の中に抑圧されていた行動や感情が極端に解放される時期です。エネルギーが湧いて気分が高揚するため、行動量が増えたりお金を使いたくなるなど急に活発になります。そのため深い意味や文脈があまりなく、色が派手になったりアクションで気持ちを表現するような作品が多くなります。



「¥10,000,000」2013年 アクリル、キャンバス

作品介绍③ 安定期

両極端だった気分の波が徐々に落ち着き、冷静で理性的になる時期です。症状が比較的治まり、自分の置かれている状況が判断できるようになるため、周囲に意識が向くようになります。今回は映像の可能性を広げる水を使ったスクリーンの作品で、人間関係や社会問題をテーマに取り上げます。



「My Color」2013年 アクリル水槽、水、墨、ビデオプロジェクター



ART-IMAGINE GALLERY PRESS RELEASE



〔作家紹介〕

桜井 絵里(さくらい えり) 1984年 神奈川県生まれ 横浜市在住

2007年武蔵野美術大学 造形学部 映像学科卒業

2005年大学在学中より創作活動、発表を始める。スクリーンとして使われたことがない素材を用いることで、映像を現象に昇華させ、純化を図る作品を多く制作。水問題をテーマに自然と人間の共存を表現する「Border of Life」、見る角度によって違う色の映像が見える「My Color」は水をスクリーンにした映像作品。他に鑑賞者の体をスクリーンにして、肌の色や服の素材、体格によって映像が変化する「The surface」は参加型のビデオアート。通常触れてはいけないとされる作品に触れることができるユニークな作品と評価される。2011年3月の東日本大震災の後に鬱病と診断される。気分の波が激しくなったことから、自分の内面世界と現実世界の差異や 医療、生と死、病気の症状などをテーマにするようになる。

〔ウェブサイト〕

<http://www.erisakurai.com/>

〔主な展示〕

2009.09「抽象・藍青展」アートイマジンギャラリー

2010.02「ミックスアートまつり」品川O美術館

2010.03「ART BOOK LOVERS」アートコンプレックスセンター

2010.08「THE LIBRARY 2010」Toki ArtSpace

2010.09「芸術の存在意義「展」」アートイマジンギャラリー

2012.04「GEISAI#16」東京流通センター第二展示場

2012.07 桜井絵里個展「-en-」アートイマジンギャラリー

〔制作協力〕

2010.10「オランダのアート&デザイン新・言語」東京都現代美術館

タケトモコ「HOMELESS HOME PROJECT」撮影、編集担当